



園部共同作業所だより

園部共同作業所発行

〒622 京都府船井郡園部町上木崎

No 24

32 0771(62)3249

大雪をふり返って

近年、暖冬が続いていたので、厳しい寒さと、大雪に見舞われた、今年の冬は心身ともにこたえました。作業所も雪のため、休まざるを得ない日が何度かありました。しかしこの冬の寒さの中、冷えた体も、すぐに暖まるほど、喜びあふれる出来事がありました。それは、早朝から猛烈に雪が降っている日でした。スリップして道端に転倒している車や、追突事故を起こしている車を横目に、ノロノロ運転でやっと、作業所に到着しました。すると、まさか一通所の人達が入り口で待っていてくれたのです。私は思わずいいました。「どうしたんや、こんな大雪の日」。皆は、「家に居ても退屈やし、作業所に来とるほうが気がはれて楽しいわ」。それを聞いて、次の言葉が生まれました。

任を身にしみて感じました。年度が改まったこの時期を迎え、自分の仕事の大切さを再認識し、励んでいる今日この頃です。
所長 杉山俊夫



当たり前前の生活を実現するために

人が生まれ育った土地で生きていくこと、それは、目に見えない繋がりがも含めて、様々な人や場所との関係を結んでいくことに他なりません。その時々に必要な関係を求め、求められて、自分の世界がより確かなものになっていきます。勿論、世界の広さ狭さは人によってそれぞれ異なる訳で、広ければよいというものではありません。病気や障害のために失った友人や社会との関係を修復していくために、

最近になってようやく、精神の領域でもリハビリテーションの概念が発達してきました。リハビリを受けることで、様々な障害を克服できることが分かってきたのです。

現在のところ残念ながらプログラムがまだ十分に整備されていないとはいえない。しかしながら、今ある社会資源や制度を最大限利用すること、工夫次第でかなりのことが出来まますし、また、最近国や自治体から出された障害者基本計画により、まずと、地域生活を支援していくための総合的なプランが用意されています。障害を持ちながらも、一人の人間として当たり前前の生活を追求していき、人に支えられながら、自分も人や社会を支えていくという、ノーマライゼーションの概念を実現していく社会への第一歩が踏み出されたと言っているでしょう。

やったぜ！

準優勝
京家連卓球交流大会
京都市障害者スポーツセンターにて
京家連卓球大会

H S

卓球大会があると聞いて、卓球なら小さい頃よくしたので、そこそこいけるのではないかと思いましたが、園部保健所で練習したとき、皆さんの上手なこと、有るか無しの自信がもろくも崩れた。さて当日、交通費も出してもらい弁当もよばれて、私は園部共同作業所Aチームでプレーさせてもらった。一回戦は不戦勝で、勝ちあがってきたチームと戦って、すこしの差で勝った。うれしかったが、優勝戦は我がチームは完敗だった。しかし準優勝できた大変うれしかった。



一月のカラオケ大会の時といい、今回の卓球大会といい、京家連主催でいろいろな催し物をしてもらい、主催者の人たちは大変だと思いますが、また、何か有れば参加したいと思っています。

京都府民間社会福祉施設等設備整備補助金より助成をいただき、おかげさまで、従来なかった自主製品の作業部屋へのエアコンとステンドグラス・フュージング用の大電気が購入できました。これで夏は涼しく、快適な作業と、大電気の購入で、今まで四個しか焼けなかったものが、一挙に二〇個出来るようになります。ステンドグラスの大量生産につながります。有り難うございました。

小豆島の旅

MH

一泊旅行は三回目。今年になってから人数が増えるとは。バスとフェリーの旅。バスの中ではつい寝てしまうこと。赤穂、日生港へと。窓際だと景色を見ながらの昼食。船の中で私はホルダーがほしくなって買ってしまいました。何でも好奇心かな、スタンプをおしにいったりパンフレットをもろうこと。ロープウェイ、乗るのも怖くなかった。揺れるのは怖かったけれど。孔雀園では孔雀に餌代五〇円。餌あげちゃった。しまいには全部あげちゃった。二四の腫は良かったわね。時間がなくてゆっくりしてる暇がなく。二階も見なかったのに。残念。

いたけど、ちゃんとはずして入りましたよ。薬も忘れず宴会場へ。食べきれないほど食事が。カラオケあり、ビール飲んだせいか、酔って寝込む人が。終わった後は、売店へ、ほしいものがたくさんあること。私は、オリーブ油三本も、お姉さんのおみやげに、お母さんもほしかったので。私も同じ。千円ちょっとかな、したの。一つで、三つだとして三千円出るとは。ほかに何かおみやげを、お菓子を二つも。客室へもどってTVを見たり十時になってもなかなか寝付かれなくて、いつの間にか寝たよう。朝は六時くらいに目が覚めちゃった。

を。お昼のおそばお寿司おいしかった。また、時間がないとは、でも楽しかった。



レクレーション
ソ行行事

平成八年

一月八日

新年会ぜんざいパーティー

七草粥とぜんざいで新年のお祝いと新たな出発にパーティーをしました。

二月一四日

体力測定

園部保健所において体力測定と骨密度測定をしました。全体に骨密度の方はカルシウムを取るように言われました。

二月二四日

共同作業所交流カラオケの集い

コミニティ嵯峨野において京都府内の六つの作

業所があつまりカラオケ大会が行われました。作業所対抗合唱の部は残念ながら賞は取れませんでした。個人の部では皆自慢の歌を聴かせてくれました。

三月一六日

全家連卓球大会

作業所からは、二チームが出ました。見事Aチームは準優勝に輝きました。

三月二二日、二三日

研修一泊旅行

今年はバスで小豆島へ行きました。

二月二四日

共同作業所交流カラオケの集い

コミニティ嵯峨野において京都府内の六つの作

寄付金
(一月一日〜三月三十一日)

木下悠紀子

川村量樹

安可昭昭口

龍野信英

長岡みさを

浅原幸代

城島幹夫

川村量樹

木下悠紀子

菓子

内藤 勉

語合せ

吉田加代子

餅

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

菓子

垣綱 佳木 依波 三記
四月になったのに雪がチラホラ、うんざり。風邪が作業所に流行、やれやれ。春本番はまだなのか。春よ来い。